

感染症 ひとくち情報

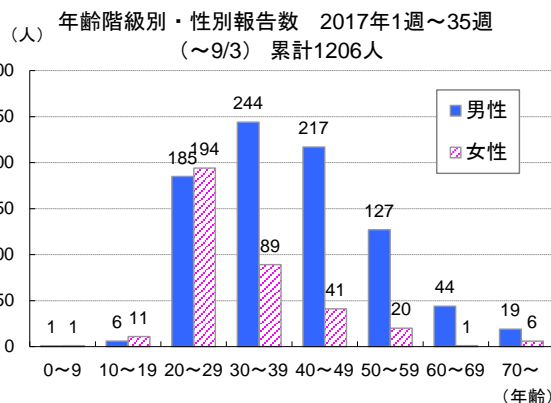
梅毒患者が増加しています!!

2017年9月8日

東京都健康安全研究センター

1. 梅毒患者の増加に伴い先天梅毒の増加も現在危惧されています

2017年35週の週報では55件の患者が報告され、週単位の報告数は過去最高となりました。患者数は増加傾向にあり、中でも20歳から30歳の女性患者が増えています。妊娠している女性が梅毒に感染すると先天梅毒児が生まれる可能性があります。2016年の先天梅毒報告件数は2件ですが、本年は35週までに3件報告されています。



2. 梅毒とは

梅毒は梅毒トレポネーマという細菌が感染することで起こる感染症です。菌を排出している感染者と粘膜や皮膚の接触を伴うセックスで感染します。感染すると、性器や肛門、口にしこりができたり、全身にぶつぶつが現れたりしますが、一旦症状が改善するため治癒したものと間違われることがあり、発見が遅れる危険があります。

検査や治療が遅れたり、治療せずに放置したりすると脳や心臓に重大な合併症を起こすことがあります。

3. 先天梅毒とは

妊婦が梅毒に感染すると、胎盤をとおして梅毒トレポネーマが胎児に感染することがあり、生まれたときから梅毒に感染した先天梅毒になります。

先天梅毒は、胎児の死亡や体の奇形など重大な影響を及ぼすため、妊娠中の検査で早期に発見する必要があります。また、妊娠を考える女性は事前に梅毒検査を受けることも重要です。



4. 予防について

- 不特定多数との性行為、疑似性行為を避けることが基本になります。
- コンドームを正しく使用することが大切です。
- お互いに感染しない・させないためにパートナー同士の感染有無の確認が必要です。
- 妊娠中の方は、妊婦健診をしっかりと受診し、妊娠中の感染予防にも努めましょう。
- 感染が疑われる場合は早めに医療機関を受診しましょう。

東京都感染症情報センターの「梅毒 (Syphilis)」のページもご参照ください。

梅毒 東京都

検索

